どこカメ® 音声機能簡易マニュアル

2015年6月15日

目次

I. インストール

クライアントのインス	ペトール	3
付記:サーバのイン	レストールと設定	6
サーバのインフ	ペトール	6
サーバの設定		7
	1)Ini ファイル設定	7
	2)SuperUser 設定	8
	3)管理者グループに属するユーザ作成	9

II. 設定

【1】	Javatel クラウドサーバ	10
【2】	クライアント	11
	1)音声設定のウィザード	
	2) 証明書 ジャック 下	
	4)各種設定	
	4-1. ノッシュ・トワ・トーク設定 4-2. ショートカットキー設定	
	4-3. ユーザ登録	21
	4-4. ACL(アクセスコントロール)	
	4-5. グループ	25
	5)チャンネル間のやりとり	27
	6)アクセストークン	

更新	覆歴
----	----

V1.0 作成
V1.1 作成 「6)アクセストークン」を追加
V1.9 作成
V1.9.1 作成 クラウドサーバ ドメイン名追記
V1.9.2 作成 I. インストールの図を刷新。サーバインストール部分を追記。

このマニュアルはどこカメ®の音声機能クライアントおよびサーバ(Windows版)についての簡易マニ ュアルです。

どこカメ®音声機能の通信はサーバを介して行われます。クライアントからサーバに接続することで、 VC ボイスチャット機能を使用することができます。またクライアントソフトにおいて ACL (アクセスコ ントロール) やメンバーのグループ登録、アクセストークンでチャンネルやユーザごとに権限を設定する ことができます。

マイクとスピーカを用意して、PC に接続してご利用ください。

1. インストール

クライアントのインストール

どこカメ®音声機能を利用するにはサーバとクライアントが必要です。クライアントからクラウドサー バもしくは自営のサーバのいずれかひとつにログインして、VC ボイスチャット機能を使用します。

以下ではどこカメ®音声機能のクライアント(Windows版)のインストール方法を説明いたします。 (*サーバのインストールおよび設定については付記を参照してください。)



1) どこカメ®音声機能(Windows 版)の インストーラをクリックしてインス トールを開始します。



2) セットアップウィザードが表示され ますので、「次へ(N)」をクリックします。



使用許諾契約書を読み、同意するに
 チェックを入れた後、「次へ(N)」をクリ
 ックします。

湯 Mumble 1.2.9 セットアップ	
カスタム セットアップ 機能をインストールする方法を選択してください。	
下のツリーのアイコンをクリックして、機能をインストーノ	いする方法を変更してください。
	サーバに接続するために必要な Mumble クライアントです。
	この機能はハード ドライブの 10MB を 必要とします。
場所: C:¥Program Files (x86)¥Mumble ²	华 参照(R)
リセット(S) ディスク使用量(U)	戻る(B) 次へ(N) キャンセル

4) クライアントのみ選択してインストールします。 左図の状態で「次へ(N)」をクリックします。

<u>*サーバのインストールについては</u> 付記を参照してください。

5)準備が完了したので「インストール (I)」 をクリックして、インストールを開 始します。

詞 Mumble 1.2.9 セットアップ	
Mumble 1.2.9 のインストール準備完了	
インストールを開始するには [インストール] をクリックしてください。 イン は変更するには [戻る] をクリックしてください。 ウィザードを終了するに	ストール設定を確認また は [キャンセル] をクリック
0(\/220%	
戻る個 ノーインストー	ルロ キャンセル

🛃 Mumble	2.9 セットアップ 📃 🗉 💌
Mumble	1.2.9 をインストール中
Mumble 1	2.9 をインストールしています。しばらくお待ちください。
状態:	新しいファイルをコピーしています
-	
	戻る個 次へ₪ ≠ャンセル

 6) インストール中。
 *もし完了後に PC の再起動をう ながすメッセージが表示された場 合、「OK」をクリックしてくださ い。



7) インストールが完了したら、「完了(F)」をクリックしてください。

再起動が必要な場合は PC を再起動してください。

以上でクライアントのインストールは完了です。

付記:サーバのインストールと設定

ここではサーバのインストールおよび設定方法を説明します。

サーバは必要に応じてインストールしてください。インストールする前によく設定方法を読んでから 行ってください。

サーバのインストール

サーバのインストールはクライアントと同じインストーラから行います。

インストールウィザード中、「カスタム セットアップ」でクライアントだけでなくサーバも同時にイ ンストールします。その他のインストール作業はクライアントのみの場合と同様です。

夛 Mumble 1.2.9 セットアップ	- • •
カスタム セットアップ 機能をインストールする方法を選択してください。	
下のツリーのアイコンをクリックして、機能をインストーノ	レする方法を変更してください。
● ● Mumble (クライアント) ● ● ● Murmur (サー/ \)	Mumbe のためのサーバ。サーバを実 行するために必要なファイルを含みま す。
	この機能はハード ドライブの 3792KB を必要とします。
場所: C:¥Program Files (x86)¥Mumble	¥ 参照(R)
リセット(5) ディスク使用量(U)	戻る個 次へ回 キャンセル

サーバの設定

サーバのインストール後は ini ファイルの設定と SuperUser (管理者権限をもつユーザ)の設定 をする必要があります。その後で、管理者グループに属するユーザを作成します。

1) Ini ファイル設定

ini ファイルはサーバ起動時に読み込まれる基本的な設定ファイルです。サーバをインストールした PC の Program files 内の「Mumble」フォルダにある「murmur.ini」を編集することによってサーバの設定を行ないます。

(*64 ビット OS の場合は Program files (x86)に「Mumble」フォルダは存在します。)

サーバで使用するポート番号の変更や接続時のパスワードの設定などが行えます。

*<u>「キー=値」形式で設定を入力します。</u> 「#」を行の冒頭につけると、コメントアウトできます。

ini ファイル設定変更例 (下線部)

・ウェルカムメッセージ

Welcome message sent to clients when they connect welcometext="
Welcome to this server running Murmur.
Enjoy your stay!
"

・ポート番号

Port to bind TCP and UDP sockets to port=<u>64739</u>

・サーバ接続のパスワード

Password to join server serverpassword=

・クライアントから送信される最大データ量

Maximum bandwidth (in bytes per second) clients are allowed # to send speech at. bandwidth=<u>72000</u>

・サーバに同時アクセスできる人数

.Maximum number of concurrent clients allowed users=<u>100</u>

2) SuperUser 設定

サーバをインストールした PC 上で SuperUser (管理者権限をもつユーザ)の設定を行ないます。

- 1 Program files (もしくは Program files (x86)) にある **¥Mumble¥murmur.exe** のショート カットをデスクトップ上に作ります。
- 2 作成したショートカットを右クリックし、プロパティを開きます。 リンク先の最後に [-supw ****] を追加します。
 ****には管理者用のパスワードを設定してください。

"C:\Program Files\Mumble\murmur.exe"

 $\downarrow \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow \downarrow$

"C:¥Program Files¥Mumble¥murmur.exe" -supw ****

🏂 murmur.exe -	ショートカットのプロパティ	
全般 ショートカッ	小 互換性 セキュリティ 詳細 以前のバージョン	
m 👔	nurmurexe - ショートカット	1°717. 1
種類	アプリケーション	
場所:	Mumble	
リンク先(工):	beram Files (x86)¥Mumble¥murmur.exe″-supw',,▲,	
作業フォルダー(S)): "C:¥Program Files (x86)¥Mumble"	
ショートカット キー(<u>K</u>):	なし	
実行時の 大きざ(B):	通常のウィンドウ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ファイルの場別	所を開く(E) アイコンの変更(C) 詳細設定(D)	
	しK キャンセル 適用(<u>A</u>)	

3 作成したショートカットから murmur.exe を起動します。



左図の様な

[日付: Superuser password set on server1]

というダイアログが表示されます。

- 4 ダイアログが出たら、一度 **murmur** を終了させ、ショートカットから上記**2**で追記した文字列を 削除します。
- 5 文字列を削除したら、murmur.exe を管理者権限で起動させます。
- 6 クライアントを起動させ、ユーザ名:SuperUser、パスワード:上記2で設定したもの でサー バに接続します。
- 7 デフォルトでは管理者権限をもつユーザは SuperUser のみです。SuperUser でサーバにアクセスし、他のユーザにも管理者権限を与えることができます。(admin にグループ設定)

3)管理者グループに属するユーザ作成

管理者グループ(admin グループ)に属するユーザを作成します。管理者権限をもつユーザ:SuperUser はデフォルトでどのチャンネルにおいても発話できません。代わりに SuperUser と同等な権限をも つユーザを作成し、サーバ運用に用います。このユーザは発話可能です。管理者グループに属するユ ーザは PC クライアントのユーザに限ります。以下ではサーバ PC のクライアントユーザに管理者権 限を付与する方法を説明します。

I) ユーザ登録

設定したパスワードでサーバにログインして、ユーザ登録をします。 詳細はII. 設定 【2】 クライアント 3)サーバ登録・接続および 4) 各種設定 4-3. ユ ーザ登録をご覧ください。

- II) SuperUser で登録したユーザに管理者権限を付与する。
 - (1) I) でユーザ登録が済んだあとは、一度サーバから切断します。
 - (2) SuperUser でサーバに入りなおします。
 - サーバを選択し、「編集」をクリックして、以下の情報を入力してサーバに入ります。 ユーザ名:Superuser
 - パスワード: (SuperUser 用に設定したパスワード)
 - (3) SuperUser でサーバにログインしたあと、「Root」チャンネルでグループ設定を行 ないます。
 - グループ:「admin」をタブから選びます。
 - メンバー: I)で登録したユーザ名を入力

OK をクリックして、登録完了です。

(4) SuperUser でのサーバ接続は切断し、I)で登録したユーザでサーバに入ります。
 これで I)で登録したユーザには管理者権限が付与されています。これで SuperUser
 でなくても管理者としてサーバを運用できます。

*登録ユーザであれば、他のユーザにも管理者権限を付与できます。

II. 設定

【1】 Javatel クラウドサーバ

Javatel のクラウドサーバへのアクセス設定です。

アクセスアドレス: dococame1.sun.ddns.vc ポート: 64739 パスワード: ****

詳細設定情報は別紙設定表を参照してください。

【2】 クライアント

クライアントを起動してサーバに接続します。

1)音声設定のウィザード

クライアント初回起動時に音声調整ウィザードが起動します。 ここでキャンセルしても、後で音声調整をすることも可能です。 1-1. ウィザードの開始。「次へ」をクリックします。



1-2. 使用する音声の入出力デバイスを選択して、「次へ」
 *入力デバイス:「エコーキャンセルを使う」有効にします。
 *出力デバイス:「位置音響を有効にする」チェックを外します。

システム DirectSound マ デパイス デフォルトのDirectSound音声入力 マ エコーキャンセルを使う エコーキャンセルを使う 出力デバイス DirectSound マ ホなたのスピーカもしくはヘッドホン)が接続しているデバイスです。 システム ワ デパイス グ グ ビロー告報ントのDirectSound音声出力 マ ビロ査音響を有効にする マ 他のユーザが話しているとき他のアウリケーションの音量を減らす	入力デバイス あなたが接続しているデバイスです。		
アオルドのDirectSound 国内(人) マオルドのDirectSound 国内(人) エコーキャンセルを使う 出力デバイス あなたのスピーカもしくはヘッドホンが接続しているデバイスです。 システム デバイス デパイス ゲフォルトのDirectSound ビローサが話しているとき他のアウリケーションの音量を減らす	システム デバノフ	DirectSound	<u> </u>
出力デバイス あなたのスピーカ低しくはヘッドホン)が接続しているデバイスです。 システム DirectSound デパイス デフォルトのDirectSound音声出力 ♥ ♥ 位置音響を有効にする ♥ 他のユーザが話しているとき他のアグリケーションの音量を減らす	J/mA	」 エコーキャンセルを使う	
システム デバイス デフォルトのDirectSound音声出力 ビ 位置音響を有効にする ビ 他のユーザが話しているとき他のアプリケーションの音量を減らす	出力デバイス あなたのスピーカ(もしくはヘッドホン)が接続しているデバイスです	t	
デパイス デフォルトのDirectSound音声出力	9 .	DirectSound	~
	27/17	 ✓ 位置音響を有効にする ✓ 他のユーザが話しているとき他のアプリケーション 	の音量を減らす

1-3. デバイス調整

聞こえる音が途切れたり、不安定にならない一番小さな値までスライダーを動かします。

音声調整ウィザード	2
デバイス調整 ハードウェアの出力遅延が最小値になるように変更します。	
遅延を最小限に保っためには、サウンドカード上で音声のパッファを出来るだ。 てくるパッファは、実際に動作可能な大きさよりかなり小さなものです。結局、こ 周波数が変わる1つの音色が聞こえますでしょうか。音が途切れたり不安定に お、音声容器の認識率を向上するため、このテストの間ローカルエコーは使う	けいさくすることが重要です。しかし、多くのサウンドカードが要求し の値を設定するにはいろいろ試してみるほかありません。 ならない一番小さな値まで下のスライダーを動かしてください。な なくなっている事をわ忘れなく。
	50ms

1-4. 音量調整

マイクの音量を最適な設定にします。

☆ 音声調整ウィザード ?
音量調整 マイクの音量を最適な設定になるよう調整します。
ポリュームコントロールパネルを開き、録音設定画面に移動しましょう。そして、マイクが選択されていて、音量が最大になっている事を確認してく ださい。もし、マイクブースト、を有効にするオブションがあるなら、それもチェックされているか確認してください。
イライラしていたり、興奮していたりする時のように大声で話してみてください。話している間、下にあるバーが春と緑の区域のなるべく赤に近い場所に留まるまでサウンドコントロールパネルの音量を下げてください。(赤い区域には 入らない よう(こしましょう)
次に、誰も起こさないようにしている夜中のようにそっと話してみましょう。話している間、バーが緑にかかり、静かにしている時は者に留まるように 下の <u>スライ</u> ダーを調整してください。
〈戻る(日、次へ(1)) キャンセル

1-5. 発声の検出

発声検出でマイク入力をオンにするための調整をします。 *普段の声の大きさで感知するように調整します。

∰ 音声調整ウィザード	? 🛛
発声の検出 話している状態と静かにしている状態をMumbleに判別させます。	
あなたがいつ話しているのかをMumbleに判別させるお手伝いをします。まず最初に、どのデータの値を使うかの選択を行います。 〇 ブッシュ・トゥ・トーク ③ 音声信号の大きさ ① 信号対雑音比(S/N比)	0
)なに、以下の2つのスライダーを調節しましょう。最初の発声は緑(確実に発言と判定)になると良いでしょう。話している最中は黄 と判定)の中に収まり、話していない時はすべて赤(発言ではないと判定)に入っているようにしてください。 -	色焼言だろう
)
〈戻る(四) (沐へ(1))>	キャンセル

1-6. 発声の検出

品質の設定	「バランス」にします。
通知設定	「通知を読み上げあなたに伝えます。」にします。

🙀 音声調整ウィ	ر#-۴ ? 🛛
品質 & 通知 音質と通	RDの設定を調整します。
品質の設定	
○低	この設定ではMumbleは 少量の帯域 を使います。これにより当然ながら高い遅延と残念な音質になります。あなたのネット ワーク環境で他の設定がきく動作しない場合のみ、の設定を選んでください。(Speex 16kbit/s 60ms / packet)
💿 バランス	これは 標準で推奨される 設定です。音質・遅延と帯域との間に素晴らしいバランスを提供します。(CELT 40kbit/s, 20ms per packet)
〇高	この設定はLAN内のような通信帯域が問題とならない状況で使うことが推奨されます。 Mumble がサポートする最小の遅延 と 高い品質 提供します。 (CELT 72kbit/s, 10ms / packet)
通知設定	
◎ 通知を誘	お上げあなたに伝えます。
○ テキスト語	売み上げを無効にして、代わりにサウンドファイルを再生します。

1-7. 位置音響

特に使用しません。

デフォルトのままで「次へ」をクリックします。

音声調整ウィザード	? 🛛
立置音響 位置音響の減衰効果を調整します。	
v Mumbleは、いくつかのゲームにおいてゲーム内での他プレイヤーの位置に対応した位置音響をサポートします。他プレイヤーの 句と距離をシミュレートして音量が変化します。このシミュレーションはお使いのオペレーティング・システムでスピーカーが正しく言 が前提となります。そのテストはここで行うことが出来ます。	D位置によって、方 没定されていること
このグラフはこれらの位置を表しています: <mark>あなた</mark> , the <mark>スピーカー</mark> and a 移動する音の発生源 上からに見えるようなら、チャン: こ間へのがよいでしょう。 <u> ヘッドホンを使う]</u>	ネルの間に移動し
• 0	
(夏る個)()太へ似)	**>セル

1-8. ウィザード完了

「Mumble プロジェクトに匿名で統計を送信する」にチェックをいれます。



^(*) クライアントの 設定から音声調整ウィザードの再設定が可能です。

2)証明書ウィザード

「証明書の自動発行」を選択して「次へ」をクリックします。

② 証明書 管理
証明書による認証 パスワードを使わないサーバへのユーザ認証
Mumbleではサーバへの認証に証明書を使えます。証明書を使うとパスワードが必要なくなります。これはパスワードをリモートサイトに公開する必要がないことを意味します。また、非常に簡単にユーザ登録できるようになります。
Mumbleは証明書なしでも動きますが、多くのサーバはあなたが証明書を持っていることを期待しています。
信頼された証明書を作ることが強く推奨されます。
した。 証明書の自動発行
○ 🔚 証明書をインポートする
○ 二書 現在の証明書をエクスポートする
< 戻る(四) (次へ(10)) キャンセル

3)サーバ登録・接続

どこカメ®サーバ接続のウィンドウが表示されます。

サーバ名			Ping	ユーザ
🖤 お気に入り				
> 🌏 インターネット				
	(サーバの)	島加 ? <mark>— X —</mark>	1	
	ラベル			
	アドレス(D)			
	ポート(P)	64738		
	ユーサ名(0)	abc		
		OK キャンセル		

- 1.「新しく追加」をクリックします。
- 2. ポップアップしてきた「サーバの追加」ウィンドウで以下の情報を入力します。 入力例)
 - ラベル: Docokame
 - アドレス: dococame1.sun.ddns.vc
 - ポート: 64739
 - ユーザ名: Docokame_User
- 3. お気に入りに「Docokame」が追加されます。
- 4. 「Docokame」をクリックして、接続します
- 5. 初回接続時には証明書の受け入れとパスワードの入力が必要です。
 - *証明書の受け入れ

A	詳細な証明書エラーの内容:
	 ホスト名がこの証明書のどの有効なホストとも一致しませんでした この証明書は自己証明書であり、信頼されていません
	この証明書を受け入れますか? (同時に証明書を保存するので、今後この質問は表示されません。)

「はい」をクリック

*パスワード: *****

6. サーバに接続すると以下のような画面が表示されます。



4)各種設定

4-1. プッシュ・トゥ・トーク設定

[1] 「設定」タブの「設定」をクリックします。

🖓 Mumble 1.2.4	
サーバ(E) 状態(S) 設定(O) ヘルプ(H)	
🐼 🕦 🦉 🖌 設定(S)	
[17:38:50] Mumbleへようこ [17:38:52] サーバ 192.168 す。	A) [©] (C) pc #
[17:33:52] サーハに接続し [17:33:53] ようこそメッセー ✓ テキスト読み上し	f(T) vatel
Welcome to this server Enjoy your stay! 小さく表示(M)	st ch 2
	🌊 test ch 3
チャンネル Root ヘのメッセージをここに入力	

- [2] 左下にある「高度な設定を表示する」にチェックを入れます。
- [3] 「伝送方式」―「送信」を「プッシュ・トゥ・トーク」に選択します。
- [4] 「プッシュ・トゥ・トークウィンドウ」にチェックを入れます。

Mumbleの設定	statute of Alexandra a line of	? ×
	インターフェース システム WASAPI ▼ デバイス デフォルトデバイス 【3】 □ 排他モード エコー ミックス	×)
☆ ショートカット ● ネットワーク ● ASIO ● メッセージ ● ブラグイン ● オーバーレイ	伝送方式 送信① ブッシュ・トゥ・トーク 二重押し時間 待機時間 【4】 ☑ ブッシュ・トゥ・トークウィンドウ	
	圧縮 音質(Q) パケットあたりの音声長 54.8kbit/s (音声 400, 位置 0.0, オーパヘッド 14.8)	40.0 kb/s 20 ms
	音声処理 ノイズ抑制 増幅の最大値	-30 dB
[2]	その他 「 音声キュー オン :/onces 参照 オフ :/offcee 参照 アイドル時の動作 5 豪 後に 何もしない マ	照(B)
 ✓ 高度な設定を表示する リセット デフォルトに見 	हूर्य OK	キャンセル 適用

[5] デスクトップに Mumble PTT のウィンドウが表示されます。

M	lumble PTT 💽
	グッシュ・トゥ・トーク

これをクリックすると、その間のみマイク入力が有効になり、クリックをやめるとマイク入力が無効になります。

4-2. ショートカットキー設定

[1] 「設定」タブの「設定」をクリックします。

- [2] 左下にある「高度な設定を表示する」にチェックを入れます。
- [3] 左のカラムより「ショートカット」を選択します。
- [4] ショートカットを追加する場合は「追加」をクリックします。

2 音声入力	ショートカット			
音声出力	機能	データ	ショートカット	抑制
Jug-7 [3]	ささやき	Root	K:Alt + K:P	
1	ささやき	test ch 3	K:Alt + K:3	
	ささやき	test ch 2	K:Alt + K:2	
	ささやき	test ch 1	K:Alt + K:1	
ASIO				
2 プラグイン				
[4	41			
-				
	追加(A) 肖	∥除(<u>R</u>)		
高度な設定を表示する				
11-22×11-5(-10	₹		OK	

[5] リストの機能の項目に「未割り当て」が追加されるので、それをクリックします。

19-100			
機能	データ	ショートカット	抑制
未割り当て			
ささやき	Root	K:Alt + K:P	V
ささやき	設定されたシ	ヨートカットのリスト	
	toot at 2	KALE . KO	

[6] 表示されるスクロールリストから追加したい機能を選択します。 ここではプッシュ・トゥ・トークを選択して説明します。

機能	-	データ
未割り当て	-	
未割り当て	-	loot
プッシュ・トゥ・トーク		est ch 3
音声処理をリセット		est ch 2
発言禁止状態	Ξ	est ch 1
聴取禁止状態		
プラグインを外す		
押してる間発言禁止		
チャンネルへの参加		
オーバーレイ表示切替		
小型切り替え	-	

*他に選択できる機能は以下の項目(V1.2.4の場合)

- ・プッシュ・トゥ・トーク
- ・音声処理をリセット
- · 発言禁止状態
- ·聴取禁止状態
- ・ブラグインを外す
- ・押している間発言禁止
- ・チャンネルへの参加
- ・オーバーレイ表示切替
- ・小型切り替え
- ・音量を上げる(+10%)
- ・音量を下げる (-10%)
- ・ささやき
- ・チャンネルのリンク
- [7] 機能を選択したらショートカットキーを設定します。
 - * 「抑制」にチェックをいれると他のアプリケーションのショートカットキーを抑制すること ができます。

.

機能	データ	ショートカット	抑制
プッシュ・トゥ・	トーク	K:Ctrl + K:Alt	
ささやき	Root	K:AIL + K:P	
ささやき	test ch 3	K:Alt + K:3	ショートカットホタンの組み合わせ
きかちち	test ch 2	K:Alt + K:2	

4-3. ユーザ登録

[1] 自分のユーザ名の上で右クリックを押します。表示されたリストから「ユーザ登録」をクリ ックします。

Mumble 1.2.4		States Street 7 1	
サーバ(E) 状態(S) 設定(O) ヘルプ(H)			
😥 🚨 🗣 🗿 🖉 🖉			
[17:83:50] Mumbleへようこそ。 [17:83:52] サーバ 192:168:17:199 (ご接続していま す。 [17:83:52] サーバに接続しました。 [17:33:53] ようこそメッセージ: Welcome to this server running Murmur . Enjoy your stay!	 Root abc javate test cf sub sub test cf test cf test cf test cf 	発言禁止(M) 聴取禁止(D) 優先度スピーカ ローカルで発言禁止(L) メッセージを無視する コメントを変更(C) メッセージを送信(M) 情報(I) ユーザ登録(R) 自分を発言禁止(M)	#
		自分を聴取禁止(D)	
チャンネル Root ヘのメッセージをここに入力			

[2] ユーザ登録確認のウィンドウが表示されます。「はい」をクリックします。

一度登録するとユーザ名は変更できません。

管理者や管理者権限をもつユーザは登録したユーザのユーザ名変更や登録の削除ができます。

👸 abc 🖉	D名前で自分をユーザ登録します
?	サーバ上で自分自身をユーザ登録しようとしています。このアクションは取り 消せません。このサーバでのあなたのユーザ名をこの操作の後に変更できなく なります。あなたはこのサーバ上で 'abc' のユーザ名を使うことになります。 本当に自分自身を登録しますか?

ユーザ登録をするとサーバに記録され、ACLリスト適用やグループメンバーに登録することができます。

*Javatel クラウドサーバでは管理者権限をもつユーザが他のユーザ登録できるように設定しております。

4-4. ACL(アクセスコントロール)

チャンネルごとに ACL (アクセスコントロール)権限が設定できます。
チャンネルでのアクセス権限適用はグループごともしくはユーザごとに設定できます。
*初期設定では管理者権限ユーザ (SuperUser や admin グループにいるユーザ)のみが ACL 権限の設定ができます。

[1] チャンネル名の上で右クリックを押して表示されるリストから編集を選びます。

Mumble 1.2.4	-		
サーバ(E) 状態(S) 設定(O) ヘルプ(H)			
🐼 🕦 🗿 🗛 鱼 <u>८</u> 🞎			
[12:57:50] Mumbleへようこそ。 [12:57:51] サーバ 192.168.17.199 に接続していま	& Root	追加(A)	*
9.57:52]サーバに接続しました。	-	編集(E)	뫍
[12:07:32] ようこモメッセーン: Welcome to this server running Murmur . Enjoy your stayl	-	削除(R)	봒
		リンク(L)	
[12:58:23] yoandroidが接続しました。 [12:58:39] yoandroidが切断しました。		リンク解除(U)	
		全てのリンクを解除(U)	
		URLを그ピー(C)	
		メッセージを送信(M)	
チャンネル Root へのメッセージをここに入力			

[2] 「ACL」タブを選択します。

ACLを有効にする <i>@all</i> @admin @auth @admin	権限 禁止許可 ACLの上書き トラバース トラバース クリーン チャンネルへの参加 クリーン 発言 クリーン 発言禁止/聴取禁止 クリーン ユーザの移動 ローン
✓ ACLを継承する 上へ(リ) 下へ(D) 追加(A) 削除(B) コンテキスト サゴチャンスクリビー適用する	チャンネル作成 チャンネルをリンク さざやき テキストメッセージ ー時チャンネルの作成 ユーザのキック ユーザのパン
	他ユーザを登録 自分をユーザ登録

[3] アクセス権限の種類

制御可能なアクセス権限は次のとおりです。

○ACL の上書き

チャンネルの ACL を編集する権限です。 この権限を持つユーザは ACL やユーザグループの編集ができます。 チャンネルを削除する権限もここに含まれます。 SuperUser は、ACL をどのように変更しても 発言以外の全ての権限を持ちます。

○ トラバース (チャンネルアクセス)

チャンネルとそのサブチャンネルへのあらゆるアクセスを行う権限です。

- チャンネルへの参加
 チャンネルへの参加する権限です。
- 発言

ボイスチャットを使って発言をする権限です。

○ 発言禁止/聴取禁止

他のユーザの発言の可否、聴取(聞き取り)の可否を変更する権限です。

○ ユーザの移動

ユーザをキック(特定のユーザをサーバから追い出します。)

○ チャンネル作成

チャンネルを作成する権限です。削除する権限はありません。

- チャンネルをリンク
- チャンネルをリンクする権限です。

リンクすると双方のチャンネルで発言・聴取が可能になります。

○ ささやき

ささやき(参加しているチャンネルのみに発言する)の機能を使う権限です。

○ テキストメッセージ

テキストメッセージ機能を使う権限です。

○ 一時チャンネルの作成

- 一時的なチャンネルを作成する権限です。
- 一時的なチャンネルは参加するユーザがいなくなると削除されます。

- ユーザをキック
 特定のユーザをサーバから追い出します。
- ユーザをバン

特定のユーザのサーバへの接続を禁止します。 バンリストに、ユーザの IP アドレスを登録してバンされたユーザの再接続を禁止します。

○ 他ユーザを登録

root チャンネルでのみ設定可 他のユーザの登録ができるようにします。

- 自分をユーザ登録
 root チャンネルでのみ設定可
 自分をサーバにユーザ登録する権限です。
- [4] ACL の追加
 - ・「追加」をクリックします。
 - ・「ユーザもしくはグループ」でACL権限を適用グループまたはユーザを設定します。
 - ・「コンテキスト」でACL権限を適応するチャンネル範囲を設定します。
 - ・「権限」で適用したいACL 権限を選択します。

プロパティ(P) グループ(G) <u>A</u> CL	按照	
@all @admin @admin @test12345 ✓ ACLを継承する 上へ(山) 下へ(D) 注自加(点) 削除(B) コンテキスト マ サブチャンネルに適用する ユーザ/グループ グループ ケープ グループ マーザID	ACLの上書き トラパース チャンネルへの参加 発言 発言禁止/聴取禁止 ユーザの移動 チャンネル作成 チャンネルをリンク ささやき テキストメッセージ ー時チャンネルをリンク ささやき テキストメッセージ ー時チャンネルの作成 ユーザのドン 他ユーザを登録 自分をユーザ登録	 禁止許可 二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、

4-5. グループ

- ・グループには基本的なグループ(全ユーザ、サーバ登録ユーザ、管理者ユーザなど)とユーザが設 定できるグループがあります。
- ・ユーザが設定できるグループに追加・除外できるのはサーバに登録済みのユーザのみです。
- [1] チャンネル名の上で右クリックを押して表示されるリストから編集を選びます。

() Mumble 1.2.4	-		
サーバ(E) 状態(S) 設定(O) ヘルプ(H)			
🔇 🛈 🖉 🗛 🔸 🔽			
[12:57:50] Mumbleへようこそ。 [12:57:51] サーバ 192.168.17.199 (ご接続していま	Koot	追加(A)	*
9。 [12:57:52] サーバに接続しました。	9	編集(E)	람
Welcome to this server running Murmur .	9	削땷(R)	f
[12:58:23] yoandroidが接続しました。 [12:58:39] yoandroidが切断しました。		リンク(L) リンク解除(U) 全てのリンクを解除(U) URLをコピー(C) メッセージを送信(M)	
チャンネル Root ヘのメッセージをここに入力			

[2] 「グループ」タブを選択します。

🕲 Mumble - Root の編集		?
プロパティ(P) グループ(G) ACL		
_ ヴループ		
	→ 追加 削除	□ 維承 □ 維承可 □ 維承済み
メンバー	除外メンバ	維承済みメンバ
	▼ 追加	
肖耶余	削除	除外
		OK ++>+

- [3] 「グループ」へのメンバー登録・除外
 - ・「グループ」にユーザをメンバー登録・除外したいグループ名を入力します。
 - ・メンバー登録の場合:メンバー追加したいユーザ名を入力して「追加」をクリックします。

Mumble - Root の編集 プロパティ(P) グループ(G) グループ	ACL		ata BuRe	☑ 绯承	🛛 徘承司	? ×
- メンバー - メンバー - メンバー		<u> </u>		継承済みメンバ	▲ 4E/¥/6]	4E/4V/A02
abc hayashi javatel se						
Obatavaio	▼ 追加		▼ 〔 追加]		
削除			削除		除外	
<u></u>					ОК	キャンセル

メンバー除外の場合も同様に行います。

各チャンネルに ACL 権限設定を行ない、かつ、ユーザをグループ所属させることにより、どこカメ ® の利用方法をコントールできます。

5)チャンネル間のやりとり

リンクを作成して、チャンネル間の音声やりとりが可能になります。 リンクの作成は ACL でリンク作成の権限がある場合に限ります。

○リンクを作成したいチャンネル名の上で右クリックして、「リンク」を選択します。



○リンクが作成されるとチャンネルのアイコンが以下のように変化します。

🚯 Mumble 1.2.4	
サーバ(E) 状態(S) 設定(O) ヘルプ(H)
🔇 🛈 💈 🗛 🗕 🚨 🐭	
 [11:14:25] Obstavaioが接続しました。 [11:18:13] hayashiが接続しました。 [11:18:00] Obstavaio(atest ch 1に移動しました。 [11:18:00] Obstavaio(atest ch 1に移動しました。 [11:22:32] Obstavaio(atest ch 1に移動しました。 [11:22:32] Obstavaio(atest ch 1に移動しました。 [11:28:15] (チャンネル) Obstavaio: test [11:28:31] Obstavaio(第音禁止状態が解除 されました。 [11:28:32] Obstavaioの発言禁止状態が解除 されました。 [11:28:32] Obstavaioの発言禁止状態が解除 されました。 [11:28:33] Obstavaioの発言禁止状態が解除 されました。 [11:28:33] Obstavaioの発言禁止状態が解除 されました。 [11:31:12] hsiosが接続しました。 [11:31:13] hsiosが接続しました。 [11:31:13] hsiosが接続しました。 [11:31:13] hsiosが接続しました。 [11:31:14] hsiosが接続しました。 [11:31:15] hsiosがからしました。 [11:31:12] hsiosがが時んました。 [11:31:18] hsiosがが時んました。 [11:32:13] Obstavaioが知らしました。 [11:32:14] hsiosが知らしました。 [11:32:15] Obstavaioが知らしました。 [11:31:14] hsiosが知らしました。 [11:31:14] hsiosが知らした。 [11:31:14] hsiosが知らしました。 [11:31:14] hsiosが知らしました。 [11:41:42] yoandroid test [11:43:46] yoandroidが知らしました。 [11:43:46] yoandroidが知らしました。 [11:43:46] yoandroidが知らした。 [11:43:46] yoandroidが知らしました。 [11:43:46] yoandroidが知らしました。 	Root abc hayashi iavatel sub 1 sub 1-1 sub 1-2 sub 2 test ch 2 test ch 3

○リンクを解除する場合には、チャンネル名を右クリックして、「リンク解除」を選択します。
 *全リンクを解除する場合には「すべてのリンクを解除」を選択します。

6)アクセストークン

作成したチャンネルにパスワードを設定することで利用するユーザを制限することができます。チャンネルに参加するには「アクセストークン」にてチャンネルのパスワードをあらかじめ設定する 必要があります。

チャンネルのパスワード設定方法

○管理者権限を持つユーザがアクセストークンを設定したいチャンネル上で右クリックを押して、 メニュを表示させます。メニュから編集を選択します。



○チャンネル編集画面の「プロパティ」タブの「パスワード」でパスワードを入力します。 OK を押して登録します。

Mumble - Javatel_Room の編集	5 7 878	?
プロパティ(P) グループ(G) <u>A</u> CL		
チャンネル名 Javatel_Room		
表示 ソーズテキスト		
/ハンフート 米(汚)->> 0		
		OK キャンセル

アクセストークン設定方法

パスワードが設定されたチャンネルに参加するにはアクセストークンを設定する必要があります。 〇メニュバーの「サーバ」から「アクセストークン」を選択します。

🛝 Mumble 1.2.4	the second se	- • ×
サーバ(E) 状態(S) 設定(O) ヘルス	プ(H)	
接続C) 切断(D) BAN一覧 登録済みユーザ (U) 情報(I) アクセストークン(A) 終了(Q) Ctrl+Q (1765b33) (Padmin)が接続しました。 (1801:67) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1802:03) iPadmin)が接続しました。 (1812:03) iPadmin)が接続しました。 (1812:03) iPadmin)が接続しました。 (1812:03) iPadmin)が接続しました。 (1812:03) iPadmin)が接続しました。 (182:032) iPadmin)が接続しました。 (1845:03) あなたの発言茶止がまたまたまた。 (1845:03) あなたの発言茶止がまたしました。 (1851:44) hsiosが接続しました。 (1851:44) hsiosが接続しました。 (1851:44) hsiosが均断しました。 (1851:48) hsiosが切断しました。 (1851:48) hsiosが切断しました。 (1851:48) hsiosが切断しました。	 Root abc hayashi javatel ANA_Room Javatel_Room Osaka_showroom 	情_ <u>。</u> 背 皆

○アクセストークン設定画面が開きます。

[1] 「追加」をクリックします。

- [2] 「空のトークン」が作成されますので、そこにチャンネルのパスワードを入力します。
- [3] 入力を終えたら「OK」をクリックします。

Mumble - アクセストークン		-	? ×
2Ptn/A)	HIR¢(D)		
25刀(日)			
	[3]	ОК	キャンセル

これでアクセストークンの設定が完了しました。

アクセストークンに入力したパスワードを設定しているチャンネルに参加することができます。

*専用チャンネル にはそれぞれアクセストークンを設定しています。

アクセストークンの設定については管理者にお尋ねください

Javatel クラウドサーバ:

- ・各チャンネルにパスワードを設定しました。
- ・会話はチャンネルに移動し、その中で行ってください。
- ・全ユーザ共通のRoot チャンネルでは「発言を禁止」する設定を行なっています。

以上